学生の確保の見通し等を記載した書類

資　料　目　次

資料１　秋田県からの要望書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　p. ２

資料２　秋田県情報産業協会からの要望書　・・・・・・・・・・・・・・・・・　p. ３

資料３　既設学科等の入学定員の充足状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・　p. ４

資料４　ニーズ調査結果報告書【高校生対象調査】　・・・・・・・・・・・・　p. 13

資料５　情報データ科学部（仮称）リーフレット　・・・・・・・・・・・・・　p. 45

資料６　入学した大学・学部・学科の志望順位（株式会社ディスコ）　・・・　p. 47

資料７　高校生が志望大学を決めた時期（ベネッセ教育総合研究所）　・・・　p. 48

資料８　秋田大学理工学部の受験を最終的に決めた時期　・・・・・・・・・・　p. 49

資料９　ニーズ調査結果報告書【企業対象調査】　・・・・・・・・・・・・・　p. 50

資料 10　秋田県内企業のデジタル人材に関するアンケート調査結果　・・・・　p. 76

秋田大学ＩＣＴ・データサイエンス系新学部の設置を求める要望書

国立大学法人秋田大学におかれましては、昭和２４年の開学以来、本県の高等教育機関の中核として、優れた人材の育成や産業の振興、文化の創造と向上、地域医療の充実など、本県の発展に多大なご貢献をいただくとともに、平成１８年からは、県との包括的な連携協定により、地域の課題解決に向け多角的な協力をいただいており、心から感謝申し上げます。

現在、本県は、国内で最も速いスピードで進行する人口減少や少子高齢化等により、社会・産業構造が大きな変革期を迎えておりますが、本県の県政運営の基本指針である「ふるさと秋田元気創造プラン」では、将来の秋田を支え、未来を果敢に切り拓く人づくりを重点戦略の一つとし、高等教育の充実と各機関の連携強化を進め、グローバル社会で活躍できる人材や、本県の産業と地域の振興に寄与できる人材の育成を進めております。

一方、新型コロナウイルス感染症の拡大や急速に進展が予想されるカーボンニュートラルへの対応、また第四次産業革命とも言われるデジタル化などによる社会経済のパラダイムシフトの時代にあって、今後、本県が力強く歩んでいくためには、ＡＩやＩｏＴなどの新しい技術を活用したデジタル・トランスフォーメーション（ＤＸ）の推進が必要不可欠であり、昨年９月には、その施策方針として「ウィズ・アフターコロナ秋田ビジョン」を策定したところであります。

こうした中、この度の貴学ＩＣＴ・データサイエンス系新学部の設置構想は、デジタル人材の育成や地域協業を通じ、医療・福祉や防災・インフラ、環境等に関する諸課題の解決のほか、先進的なものづくりや農業、エネルギー分野等の産業振興への貢献が期待されるとともに、各施策分野における高速通信環境の活用やデジタル化の加速、県内高等教育機関の振興と高度化、県内高校生への進路選択肢の拡大等、まさに本県の施策の方向性に合致するものであり、新時代の秋田創生に向けて、喫緊に実現していただくべきものと考えます。

県としても、これまでにも増して貴学との連携を強化し、地域社会の課題やビジョンを共有しつつ、本県における高等教育の充実に取り組んでまいりたいと考えておりますので、貴学ＩＣＴ・データサイエンス系新学部設置を強く要望いたします。

令和３年３月１９日

国立大学法人秋田大学長　山本 文雄 様

秋田県知事　佐竹 敬久

秋田県知事

秋田大学情報データ科学部の設置を求める要望書

国立大学法人秋田大学におかれましては、昭和２４年の開学以来、秋田県の高等教育機関の中核として、優れた人材の育成や産業の振興、文化の創造と向上、地域医療の充実など、秋田県の様々な分野の発展に多大なご貢献をいただいており、心から感謝申し上げます。

近年、急速なデジタル技術の発展により社会構造が大きく変貌しており、膨大なデータから新たな知見や課題解決の糸口を見つけ出せる人材の育成が社会経済の発展のために必要であるとされています。

当協会においても、業種や業態の枠にとらわれることなく、互いの特性を活かして協業できる体制の整備と情報通信技術に精通した専門人材の確保、育成支援などにも力を入れているところです。

最先端のデジタル技術やビッグデータ分析のできる専門人材は秋田県においても不足しており、当協会の加盟企業においても人材確保に苦慮している状況であることから、情報データ科学部の設置による人材育成は急務であると考えます。

また、持続可能な地域発展に不可欠であるデジタル人材の地元定着を促すために、当協会を始めとした県内企業が貴学の学生と授業や実習の場で関わり合い、協業を実践できる機会の確保も重要であると考えております。

貴学の情報データ科学部設置構想は、デジタル技術を活用することで、各種サービス、産業の生産性、県民生活の利便性向上等を実現させることを理念に掲げており、当協会の活動目的と通じる部分が多くあることから、貴学が進めようとしている人材育成には大きな期待をしております。

学部生４００人が秋田で学ぶこと、そして秋田で学んだ DNA を持つデジタル人材を世に送り出すことは、人口問題という社会的課題を抱える秋田県にデジタル人材が定着することの期待に留まらない社会的な意義があるものと確信します。

以上のことから、情報学とデータサイエンスを体系的に学び、課題解決と新たな価値を創造できる人材を養成する貴学情報データ科学部の設置を強く要望いたします。

令和６年２月２７日

一般社団法人　秋田県情報産業協会
会長　江畑佳明

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 別紙２

大学学部学科等名：国際資源学部 国際資源学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		16人	16人	18人	18人	18人	17人
	延べ人数	志願者数	27人	31人	30人	23人	28人	28人
		受験者数	27人	31人	30人	23人	28人	28人
		合格者数	14人	13人	17人	17人	19人	16人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数			1人			0人
	実人数	志願者数	27人	31人	30人	23人	28人	28人
		受験者数	27人	31人	30人	23人	28人	28人
		合格者数	14人	13人	17人	17人	19人	16人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数			1人			0人
	入学者数		14人	13人	16人	17人	19人	16人
学校推薦型選抜	募集人数		13人	13人	13人	13人	13人	13人
	延べ人数	志願者数	19人	19人	15人	13人	27人	19人
		受験者数	19人	19人	14人	13人	26人	18人
		合格者数	12人	8人	13人	10人	14人	11人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	実人数	志願者数	19人	19人	15人	13人	27人	19人
		受験者数	19人	19人	14人	13人	26人	18人
		合格者数	12人	8人	13人	10人	14人	11人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	入学者数		12人	8人	13人	10人	14人	11人
一般選抜	募集人数		86人	86人	84人	84人	84人	85人
	延べ人数	志願者数	412人	401人	281人	346人	296人	347人
		受験者数	245人	259人	161人	214人	140人	204人
		合格者数	113人	115人	110人	106人	95人	108人
		うち追加合格者数					2人	0人
		辞退者数	16人	11人	13人	13人	12人	13人
	実人数	志願者数	412人	401人	281人	346人	296人	347人
		受験者数	245人	259人	161人	214人	140人	204人
		合格者数	113人	115人	110人	106人	95人	108人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数	16人	11人	13人	13人	12人	13人
	入学者数		97人	104人	97人	93人	83人	95人
その他の特別選抜	募集人数		5人	5人	5人	5人	5人	5人
	延べ人数	志願者数	7人	8人	5人	5人	1人	5人
		受験者数	6人	6人	4人	4人	1人	4人
		合格者数	4人	3人	2人	3人	1人	3人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数	1人	2人	1人	2人		1人
	実人数	志願者数	7人	8人	5人	5人	1人	5人
		受験者数	6人	6人	4人	4人	1人	4人
		合格者数	4人	3人	2人	3人	1人	3人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数	1人	2人	1人	2人		1人
	入学者数		3人	1人	1人	1人	1人	1人
合計	募集人数		120人	120人	120人	120人	120人	120人
	延べ人数	志願者数	465人	459人	331人	387人	352人	399人
		受験者数	297人	315人	209人	254人	195人	254人
		合格者数	143人	139人	142人	136人	129人	138人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	2人	0人
		辞退者数	17人	13人	15人	15人	12人	14人
	実人数	志願者数	465人	459人	331人	387人	352人	399人
		受験者数	297人	315人	209人	254人	195人	254人
		合格者数	143人	139人	142人	136人	129人	138人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	2人	0人
		辞退者数	17人	13人	15人	15人	12人	14人
	入学者数		126人	126人	127人	121人	117人	123人

３．入学定員充足率

	H30年度入試	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	平　均
入学定員	120人	120人	120人	120人	120人	120
入学定員充足率	1.05	1.05	1.06	1.01	0.98	1.03
歩留率	0.88	0.91	0.89	0.89	0.91	0.90

※令和２年度以前のAO入試は総合型入試として集計した。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 別紙２

大学学部学科等名：教育文化学部 学校教育課程

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数							0人
	延べ人数	志願者数						0人
		受験者数						0人
		合格者数						0人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	実人数	志願者数						0人
		受験者数						0人
		合格者数						0人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	入学者数							0人
学校推薦型選抜	募集人数		25人	25人	25人	25人	25人	25人
	延べ人数	志願者数	79人	80人	68人	73人	61人	72人
		受験者数	79人	80人	68人	73人	61人	72人
		合格者数	25人	26人	25人	25人	25人	25人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	実人数	志願者数	79人	80人	68人	73人	61人	72人
		受験者数	79人	80人	68人	73人	61人	72人
		合格者数	25人	26人	25人	25人	25人	25人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	入学者数		25人	26人	25人	25人	25人	25人
一般選抜	募集人数		85人	85人	85人	85人	85人	85人
	延べ人数	志願者数	526人	430人	468人	403人	335人	432人
		受験者数	333人	246人	253人	226人	182人	248人
		合格者数	93人	93人	95人	93人	90人	93人
		うち追加合格者数	1人	1人	1人			1人
		辞退者数	7人	6人	3人	3人	2人	4人
	実人数	志願者数	526人	430人	468人	403人	335人	432人
		受験者数	333人	246人	253人	226人	182人	248人
		合格者数	93人	93人	95人	93人	90人	93人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数	7人	6人	3人	3人	2人	4人
	入学者数		86人	87人	92人	90人	88人	89人
その他の特別選抜	募集人数							0人
	延べ人数	志願者数						0人
		受験者数						0人
		合格者数						0人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	実人数	志願者数						0人
		受験者数						0人
		合格者数						0人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	入学者数							0人
合計	募集人数		110人	110人	110人	110人	110人	110人
	延べ人数	志願者数	605人	510人	536人	476人	396人	505人
		受験者数	412人	326人	321人	299人	243人	320人
		合格者数	118人	119人	120人	118人	115人	118人
		うち追加合格者数	1人	1人	1人	0人	0人	1人
		辞退者数	7人	6人	3人	3人	2人	4人
	実人数	志願者数	605人	510人	536人	476人	396人	505人
		受験者数	412人	326人	321人	299人	243人	320人
		合格者数	118人	119人	120人	118人	115人	118人
		うち追加合格者数	1人	1人	1人	0人	0人	1人
		辞退者数	7人	6人	3人	3人	2人	4人
	入学者数		111人	113人	117人	115人	113人	114人

３．入学定員充足率

	H30年度入試	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	平　均
入学定員	110人	110人	110人	110人	110人	110
入学定員充足率	1.01	1.03	1.06	1.05	1.03	1.03
歩留率	0.94	0.95	0.98	0.97	0.98	0.96

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 別紙２

大学学部学科等名：教育文化学部 地域文化学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数				5人	8人	10人	5人
	延べ人数	志願者数			16人	9人	26人	10人
		受験者数			16人	9人	26人	10人
		合格者数			5人	5人	11人	4人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数					1人	0人
	実人数	志願者数			16人	9人	26人	10人
		受験者数			16人	9人	26人	10人
		合格者数			5人	5人	11人	4人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数					1人	0人
	入学者数				5人	5人	10人	4人
学校推薦型選抜	募集人数		25人	25人	20人	22人	22人	23人
	延べ人数	志願者数	51人	56人	53人	44人	52人	51人
		受験者数	51人	56人	53人	44人	52人	51人
		合格者数	24人	26人	21人	25人	23人	24人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	実人数	志願者数	51人	56人	53人	44人	52人	51人
		受験者数	51人	56人	53人	44人	52人	51人
		合格者数	24人	26人	21人	25人	23人	24人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	入学者数		24人	26人	21人	25人	23人	24人
一般選抜	募集人数		75人	75人	75人	70人	68人	73人
	延べ人数	志願者数	408人	346人	235人	434人	244人	333人
		受験者数	300人	236人	122人	295人	155人	222人
		合格者数	84人	81人	82人	76人	72人	79人
		うち追加合格者数		2人				0人
		辞退者数	5人	7人	8人	4人	2人	5人
	実人数	志願者数	408人	346人	235人	434人	244人	333人
		受験者数	300人	236人	122人	295人	155人	222人
		合格者数	84人	81人	82人	76人	72人	79人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数	5人	7人	8人	4人	2人	5人
	入学者数		79人	74人	74人	72人	70人	74人
その他の特別選抜	募集人数							0人
	延べ人数	志願者数						0人
		受験者数						0人
		合格者数						0人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	実人数	志願者数						0人
		受験者数						0人
		合格者数						0人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	入学者数							0人
合計	募集人数		100人	100人	100人	100人	100人	100人
	延べ人数	志願者数	459人	402人	304人	487人	322人	395人
		受験者数	351人	292人	191人	348人	233人	283人
		合格者数	108人	107人	108人	106人	106人	107人
		うち追加合格者数	0人	2人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	7人	8人	4人	3人	5人
	実人数	志願者数	459人	402人	304人	487人	322人	395人
		受験者数	351人	292人	191人	348人	233人	283人
		合格者数	108人	107人	108人	106人	106人	107人
		うち追加合格者数	0人	2人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	7人	8人	4人	3人	5人
	入学者数		103人	100人	100人	102人	103人	102人

３．入学定員充足率

	H30年度入試	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	平　均
入学定員	100人	100人	100人	100人	100人	100
入学定員充足率	1.03	1.00	1.00	1.02	1.03	1.02
歩留率	0.95	0.93	0.93	0.96	0.97	0.95

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 別紙２

大学学部学科等名：医学部 医学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数							0人
	延べ人数	志願者数						0人
		受験者数						0人
		合格者数						0人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	実人数	志願者数						0人
		受験者数						0人
		合格者数						0人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	入学者数							0人
学校推薦型選抜	募集人数		44人	49人	45人	45人	45人	46人
	延べ人数	志願者数	133人	134人	116人	118人	137人	128人
		受験者数	129人	133人	116人	117人	136人	126人
		合格者数	44人	49人	45人	45人	45人	46人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	実人数	志願者数	133人	134人	116人	118人	137人	128人
		受験者数	129人	133人	116人	117人	136人	126人
		合格者数	44人	49人	45人	45人	45人	46人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	入学者数		44人	49人	45人	45人	45人	46人
一般選抜	募集人数		80人	75人	79人	79人	79人	78人
	延べ人数	志願者数	619人	702人	594人	610人	734人	652人
		受験者数	249人	305人	264人	237人	261人	263人
		合格者数	84人	81人	84人	81人	82人	82人
		うち追加合格者数	2人	4人	3人	2人	2人	3人
		辞退者数	4人	6人	5人	2人	3人	4人
	実人数	志願者数	619人	702人	594人	610人	734人	652人
		受験者数	249人	305人	264人	237人	261人	263人
		合格者数	84人	81人	84人	81人	82人	82人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数	4人	6人	5人	2人	3人	4人
	入学者数		80人	75人	79人	79人	79人	78人
その他の特別選抜	募集人数							0人
	延べ人数	志願者数						0人
		受験者数						0人
		合格者数						0人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	実人数	志願者数						0人
		受験者数						0人
		合格者数						0人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	入学者数							0人
合計	募集人数		124人	124人	124人	124人	124人	124人
	延べ人数	志願者数	752人	836人	710人	728人	871人	779人
		受験者数	378人	438人	380人	354人	397人	389人
		合格者数	128人	130人	129人	126人	127人	128人
		うち追加合格者数	2人	4人	3人	2人	2人	3人
		辞退者数	4人	6人	5人	2人	3人	4人
	実人数	志願者数	752人	836人	710人	728人	871人	779人
		受験者数	378人	438人	380人	354人	397人	389人
		合格者数	128人	130人	129人	126人	127人	128人
		うち追加合格者数	2人	4人	3人	2人	2人	3人
		辞退者数	4人	6人	5人	2人	3人	4人
	入学者数		124人	124人	124人	124人	124人	124人

３．入学定員充足率

	H30年度入試	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	平　均
入学定員	124人	124人	124人	124人	124人	124
入学定員充足率	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
歩留率	0.97	0.95	0.96	0.98	0.98	0.97

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 別紙２

大学学部学科等名：保健学科 保健学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数				42人	42人	52人	27人
	延べ人数	志願者数			99人	93人	98人	58人
		受験者数			99人	93人	96人	58人
		合格者数			40人	43人	49人	26人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	実人数	志願者数			99人	93人	98人	58人
		受験者数			99人	93人	96人	58人
		合格者数			40人	43人	49人	26人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	入学者数				40人	43人	49人	26人
学校推薦型選抜	募集人数		31人	33人				13人
	延べ人数	志願者数	90人	92人				36人
		受験者数	90人	92人				36人
		合格者数	33人	31人				13人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	実人数	志願者数	90人	92人				36人
		受験者数	90人	92人				36人
		合格者数	33人	31人				13人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	入学者数		33人	31人				13人
一般選抜	募集人数		75人	73人	64人	64人	54人	66人
	延べ人数	志願者数	379人	341人	161人	216人	224人	264人
		受験者数	214人	185人	127人	166人	96人	158人
		合格者数	82人	83人	76人	73人	65人	76人
		うち追加合格者数	1人		5人	2人	4人	2人
		辞退者数	7人	7人	9人	7人	6人	7人
	実人数	志願者数	379人	341人	161人	216人	224人	264人
		受験者数	214人	185人	127人	166人	96人	158人
		合格者数	82人	83人	76人	73人	65人	76人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数	7人	7人	9人	7人	6人	7人
	入学者数		75人	76人	67人	66人	59人	69人
その他の特別選抜	募集人数							0人
	延べ人数	志願者数						0人
		受験者数						0人
		合格者数						0人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	実人数	志願者数						0人
		受験者数						0人
		合格者数						0人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	入学者数							0人
合計	募集人数		106人	106人	106人	106人	106人	106人
	延べ人数	志願者数	469人	433人	260人	309人	322人	359人
		受験者数	304人	277人	226人	259人	192人	252人
		合格者数	115人	114人	116人	116人	114人	115人
		うち追加合格者数	1人	0人	5人	2人	4人	2人
		辞退者数	7人	7人	9人	7人	6人	7人
	実人数	志願者数	469人	433人	260人	309人	322人	359人
		受験者数	304人	277人	226人	259人	192人	252人
		合格者数	115人	114人	116人	116人	114人	115人
		うち追加合格者数	1人	0人	5人	2人	4人	2人
		辞退者数	7人	7人	9人	7人	6人	7人
	入学者数		108人	107人	107人	109人	108人	108人

３．入学定員充足率

	H30年度入試	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	平　均
入学定員	106人	106人	106人	106人	106人	106
入学定員充足率	1.02	1.01	1.01	1.03	1.02	1.02
歩留率	0.94	0.94	0.92	0.94	0.95	0.94

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

別紙２

大学学部学科等名：理工学部 生命科学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		10人	10人	14人	14人	14人	12人
	延べ人数	志願者数	26人	34人	25人	33人	26人	29人
		受験者数	26人	33人	25人	32人	26人	28人
		合格者数	11人	10人	12人	14人	14人	12人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	実人数	志願者数	26人	34人	25人	33人	26人	29人
		受験者数	26人	33人	25人	32人	26人	28人
		合格者数	11人	10人	12人	14人	14人	12人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	入学者数		11人	10人	12人	14人	14人	12人
学校推薦型選抜	募集人数		4人	4人				2人
	延べ人数	志願者数	5人	15人				4人
		受験者数	5人	15人				4人
		合格者数	5人	4人				2人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	実人数	志願者数	5人	15人				4人
		受験者数	5人	15人				4人
		合格者数	5人	4人				2人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	入学者数		5人	4人				2人
一般選抜	募集人数		30人	29人	29人	29人	29人	29人
	延べ人数	志願者数	246人	190人	173人	134人	149人	178人
		受験者数	157人	123人	117人	87人	93人	115人
		合格者数	39人	40人	38人	46人	38人	40人
		うち追加合格者数		1人		1人		0人
		辞退者数	5人	10人	5人	14人	6人	8人
	実人数	志願者数	246人	190人	173人	134人	149人	178人
		受験者数	157人	123人	117人	87人	93人	115人
		合格者数	39人	40人	38人	46人	38人	40人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数	5人	10人	5人	14人	6人	8人
	入学者数		34人	30人	33人	32人	32人	32人
その他の特別選抜	募集人数		1人	2人	2人	2人	2人	2人
	延べ人数	志願者数	18人	14人	7人	10人	7人	11人
		受験者数	17人	11人	7人	10人	6人	10人
		合格者数	2人	2人	1人	2人	2人	2人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数	1人	1人		2人	1人	1人
	実人数	志願者数	18人	14人	7人	10人	7人	11人
		受験者数	17人	11人	7人	10人	6人	10人
		合格者数	2人	2人	1人	2人	2人	2人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数	1人	1人		2人	1人	1人
	入学者数		1人	1人	1人		1人	1人
合計	募集人数		45人	45人	45人	45人	45人	45人
	延べ人数	志願者数	295人	253人	205人	177人	182人	222人
		受験者数	205人	182人	149人	129人	125人	158人
		合格者数	57人	56人	51人	62人	54人	56人
		うち追加合格者数	0人	1人	0人	1人	0人	0人
		辞退者数	6人	11人	5人	16人	7人	9人
	実人数	志願者数	295人	253人	205人	177人	182人	222人
		受験者数	205人	182人	149人	129人	125人	158人
		合格者数	57人	56人	51人	62人	54人	56人
		うち追加合格者数	0人	1人	0人	1人	0人	0人
		辞退者数	6人	11人	5人	16人	7人	9人
	入学者数		51人	45人	46人	46人	47人	47人

３．入学定員充足率

	H30年度入試	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	平　均
入学定員	45人	45人	45人	45人	45人	45
入学定員充足率	1.13	1.00	1.02	1.02	1.04	1.04
歩留率	0.89	0.80	0.90	0.74	0.87	0.84

※令和２年度以前のAO入試は総合型入試として集計した。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 別紙２

大学学部学科等名：理工学部 物質科学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		20人	20人	27人	27人	27人	24人
	延べ人数	志願者数	23人	26人	29人	28人	36人	28人
		受験者数	23人	24人	29人	28人	36人	28人
		合格者数	19人	20人	24人	23人	30人	23人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	実人数	志願者数	23人	26人	29人	28人	36人	28人
		受験者数	23人	24人	29人	28人	36人	28人
		合格者数	19人	20人	24人	23人	30人	23人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	入学者数		19人	20人	24人	23人	30人	23人
学校推薦型選抜	募集人数		8人	8人				3人
	延べ人数	志願者数	10人	7人				3人
		受験者数	10人	6人				3人
		合格者数	8人	5人				3人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	実人数	志願者数	10人	7人				3人
		受験者数	10人	6人				3人
		合格者数	8人	5人				3人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	入学者数		8人	5人				3人
一般選抜	募集人数		79人	77人	77人	77人	77人	77人
	延べ人数	志願者数	321人	363人	335人	247人	231人	299人
		受験者数	234人	236人	231人	153人	148人	200人
		合格者数	96人	95人	106人	98人	97人	98人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数	14人	12人	26人	15人	16人	17人
	実人数	志願者数	321人	363人	335人	247人	231人	299人
		受験者数	234人	236人	231人	153人	148人	200人
		合格者数	96人	95人	106人	98人	97人	98人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数	14人	12人	26人	15人	16人	17人
	入学者数		82人	83人	80人	83人	81人	82人
その他の特別選抜	募集人数		3人	5人	6人	6人	6人	5人
	延べ人数	志願者数	19人	24人	20人	10人	27人	20人
		受験者数	15人	21人	18人	9人	19人	16人
		合格者数	9人	10人	13人	7人	10人	10人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数	5人	7人	7人	1人	6人	5人
	実人数	志願者数	19人	24人	20人	10人	27人	20人
		受験者数	15人	21人	18人	9人	19人	16人
		合格者数	9人	10人	13人	7人	10人	10人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数	5人	7人	7人	1人	6人	5人
	入学者数		4人	3人	6人	6人	4人	5人
合計	募集人数		110人	110人	110人	110人	110人	110人
	延べ人数	志願者数	373人	420人	384人	285人	294人	351人
		受験者数	282人	287人	278人	190人	203人	248人
		合格者数	132人	130人	143人	128人	137人	134人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	19人	19人	33人	16人	22人	22人
	実人数	志願者数	373人	420人	384人	285人	294人	351人
		受験者数	282人	287人	278人	190人	203人	248人
		合格者数	132人	130人	143人	128人	137人	134人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	19人	19人	33人	16人	22人	22人
	入学者数		113人	111人	110人	112人	115人	112人

３．入学定員充足率

	H30年度入試	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	平　均
入学定員	110人	110人	110人	110人	110人	110
入学定員充足率	1.03	1.01	1.00	1.02	1.05	1.02
歩留率	0.86	0.85	0.77	0.88	0.84	0.84

※令和２年度以前のAO入試は総合型入試として集計した。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 別紙２

大学学部学科等名：理工学部 数理・電気電子情報学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		25人	26人	37人	37人	37人	32人
	延べ人数	志願者数	69人	90人	77人	71人	79人	77人
		受験者数	69人	83人	76人	70人	79人	75人
		合格者数	28人	30人	44人	45人	45人	38人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	実人数	志願者数	69人	90人	77人	71人	79人	77人
		受験者数	69人	83人	76人	70人	79人	75人
		合格者数	28人	30人	44人	45人	45人	38人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	入学者数		28人	30人	44人	45人	45人	38人
学校推薦型選抜	募集人数		12人	12人				5人
	延べ人数	志願者数	16人	31人				9人
		受験者数	16人	31人				9人
		合格者数	11人	13人				5人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	実人数	志願者数	16人	31人				9人
		受験者数	16人	31人				9人
		合格者数	11人	13人				5人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	入学者数		11人	13人				5人
一般選抜	募集人数		78人	76人	76人	76人	76人	76人
	延べ人数	志願者数	512人	447人	501人	401人	419人	456人
		受験者数	355人	312人	347人	248人	197人	292人
		合格者数	90人	86人	86人	86人	84人	86人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数	13人	9人	11人	15人	10人	12人
	実人数	志願者数	512人	447人	501人	401人	419人	456人
		受験者数	355人	312人	347人	248人	197人	292人
		合格者数	90人	86人	86人	86人	84人	86人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数	13人	9人	11人	15人	10人	12人
	入学者数		77人	77人	75人	71人	74人	75人
その他の特別選抜	募集人数		5人	6人	7人	7人	7人	6人
	延べ人数	志願者数	38人	35人	28人	24人	28人	31人
		受験者数	29人	28人	20人	20人	24人	24人
		合格者数	11人	10人	7人	11人	10人	10人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数	2人	4人	2人	5人	5人	4人
	実人数	志願者数	38人	35人	28人	24人	28人	31人
		受験者数	29人	28人	20人	20人	24人	24人
		合格者数	11人	10人	7人	11人	10人	10人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数	2人	4人	2人	5人	5人	4人
	入学者数		9人	6人	5人	6人	5人	6人
合計	募集人数		120人	120人	120人	120人	120人	120人
	延べ人数	志願者数	635人	603人	606人	496人	526人	573人
		受験者数	469人	454人	443人	338人	300人	401人
		合格者数	140人	139人	137人	142人	139人	139人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	15人	13人	13人	20人	15人	15人
	実人数	志願者数	635人	603人	606人	496人	526人	573人
		受験者数	469人	454人	443人	338人	300人	401人
		合格者数	140人	139人	137人	142人	139人	139人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	15人	13人	13人	20人	15人	15人
	入学者数		125人	126人	124人	122人	124人	124人

３．入学定員充足率

	H30年度入試	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	平　均
入学定員	120人	120人	120人	120人	120人	120
入学定員充足率	1.04	1.05	1.03	1.02	1.03	1.04
歩留率	0.89	0.91	0.91	0.86	0.89	0.89

※令和２年度以前のAO入試は総合型入試として集計した。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 別紙２

大学学部学科等名：理工学部 システムデザイン工学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		22人	21人	36人	36人	36人	30人
	延べ人数	志願者数	60人	62人	66人	67人	48人	61人
		受験者数	60人	55人	66人	67人	48人	59人
		合格者数	25人	22人	41人	40人	34人	32人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	実人数	志願者数	60人	62人	66人	67人	48人	61人
		受験者数	60人	55人	66人	67人	48人	59人
		合格者数	25人	22人	41人	40人	34人	32人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	入学者数		25人	22人	41人	40人	34人	32人
学校推薦型選抜	募集人数		15人	15人				6人
	延べ人数	志願者数	24人	23人				9人
		受験者数	24人	23人				9人
		合格者数	14人	11人				5人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	実人数	志願者数	24人	23人				9人
		受験者数	24人	23人				9人
		合格者数	14人	11人				5人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数						0人
	入学者数		14人	11人				5人
一般選抜	募集人数		78人	78人	78人	78人	78人	78人
	延べ人数	志願者数	389人	389人	358人	293人	519人	390人
		受験者数	278人	256人	244人	180人	313人	254人
		合格者数	89人	97人	84人	94人	98人	92人
		うち追加合格者数					4人	1人
		辞退者数	13人	12人	9人	12人	19人	13人
	実人数	志願者数	389人	389人	358人	293人	519人	390人
		受験者数	278人	256人	244人	180人	313人	254人
		合格者数	89人	97人	84人	94人	98人	92人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数	13人	12人	9人	12人	19人	13人
	入学者数		76人	85人	75人	82人	79人	79人
その他の特別選抜	募集人数		5人	6人	6人	6人	6人	6人
	延べ人数	志願者数	36人	34人	20人	20人	23人	27人
		受験者数	30人	29人	18人	17人	19人	23人
		合格者数	12人	9人	10人	9人	11人	10人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数	4人	4人	2人	6人	4人	4人
	実人数	志願者数	36人	34人	20人	20人	23人	27人
		受験者数	30人	29人	18人	17人	19人	23人
		合格者数	12人	9人	10人	9人	11人	10人
		うち追加合格者数						0人
		辞退者数	4人	4人	2人	6人	4人	4人
	入学者数		8人	5人	8人	3人	7人	6人
合計	募集人数		120人	120人	120人	120人	120人	120人
	延べ人数	志願者数	509人	508人	444人	380人	590人	486人
		受験者数	392人	363人	328人	264人	380人	345人
		合格者数	140人	139人	135人	143人	143人	140人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	4人	1人
		辞退者数	17人	16人	11人	18人	23人	17人
	実人数	志願者数	509人	508人	444人	380人	590人	486人
		受験者数	392人	363人	328人	264人	380人	345人
		合格者数	140人	139人	135人	143人	143人	140人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	4人	1人
		辞退者数	17人	16人	11人	18人	23人	17人
	入学者数		123人	123人	124人	125人	120人	123人

３．入学定員充足率

	H30年度入試	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	平　均
入学定員	120人	120人	120人	120人	120人	120
入学定員充足率	1.03	1.03	1.03	1.04	1.00	1.03
歩留率	0.88	0.88	0.92	0.87	0.84	0.88

※令和２年度以前のAO入試は総合型入試として集計した。

秋田大学
「情報データ科学部」「総合環境理工学部」
（いずれも仮称）設置・改組に関するニーズ調査
結果報告書
【高校生対象調査】

令和６年２月

株式会社　進研アド

© Shinken-Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.

調査概要

1. 調査目的

2025年4月予定の秋田大学「情報データ科学部」「総合環境理工学部」（いずれも仮称）の設置・改組構想に関して、高校生からの進学ニーズを把握する。

2. 調査概要

		高校生対象調査
調査対象		高校2年生
調査エリア		北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、新潟県、静岡県
調査方法		高校留め置き調査
調査対象数	依頼数（依頼校数）	12,030名（85校）
	有効回収数（回収校数）	7,626名（72校） 有効回収率：63.4％
調査時期		2023年11月２日（木）～2023年12月11日（月）
調査実施機関		株式会社　進研アド

3. 調査項目

高校生対象調査
・性別 ・学年 ・高校種別 ・高校所在地 ・所属クラス ・高校卒業後の希望進路 ・志望する設置者 ・興味のある学問分野 ・秋田大学「情報データ科学部」「総合環境理工学部」の特色に対する魅力度 ・秋田大学「情報データ科学部」「総合環境理工学部」への受験意向 ・秋田大学「情報データ科学部」「総合環境理工学部」への入学意向

入学意向調査　調査結果

※報告書内の表中の％の母数は、
特に断りがない場合、回答者全体（7,626名）

回答者の属性

回答者の属性

※本調査は、秋田大学の「情報データ科学部」「総合環境理工学部」（いずれも仮称）に対する需要を確認するための調査として設計。秋田大学の主な学生募集エリアである北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、新潟県、静岡県に所在する高校の高校2年生に調査を実施し7,626名から回答を得た。

- 回答者の性別は「男性」が55.1％、「女性」が42.5％である。
- 回答者の学年は「2年生」が100.0％である。
- 回答者の高校種別は「公立」が92.6％、「私立」が7.4％である。
- 回答者の在籍高校所在地は、秋田大学の所在地である「秋田県」が34.8％を占め、最も多い。次に「岩手県」が11.9％、「青森県」が8.8％と続く。
- 回答者の所属クラスは「理系クラス（理系コース）」が75.0％で最も多い。次に「文系クラス（文系コース）」が18.7％と続く。

■性別

上段：％ 下段：件数（名）	標本数	男性	女性	回答しない	無回答
全体	7,626	55.1 4,204	42.5 3,241	1.7 128	0.7 53

■学年

上段：％ 下段：件数（名）	標本数	1年生	2年生	3年生	無回答
全体	7,626	0.0 0	100.0 7,626	0.0 0	0.0 0

回答者の属性

■高校種別

上段:% 下段:件数(名)	標本数	国立	公立	私立	無回答
全体	7,626	0.0 0	92.6 7,061	7.4 565	0.0 0

■高校所在地

上段:% 下段:件数(名)	標本数	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県
全体	7,626	2.5 192	8.8 671	11.9 905	3.6 276	34.8 2,655	6.6 500	1.6 123	1.1 83

上段:% 下段:件数(名)	標本数	栃木県	群馬県	埼玉県	東京都	新潟県	静岡県	無回答
全体	7,626	5.8 446	5.5 423	4.0 303	2.4 181	5.5 416	5.9 452	0.0 0

■所属クラス

上段:% 下段:件数(名)	標本数	文系クラス(文系コース)	理系クラス(理系コース)	コース選択はない	その他	無回答
全体	7,626	18.7 1,424	75.0 5,716	2.7 205	1.3 97	2.4 184

高校卒業後の希望進路

高校卒業後の希望進路

- 回答者のうち、今後「大学」に進学することを検討・希望している人は92.5%。次いで、「専門学校」に進学が7.4%、「就職」が3.3%と続く。「短期大学」に進学は3.2%、「専門職大学」に進学は2.2%、「専門職短期大学」に進学は0.5%である。
- 高校卒業後の希望進路として「大学」「短期大学」「専門職大学」「専門職短期大学」のいずれかを選択した人に、設置者ごとの進学希望を複数回答で聴取した。その結果、秋田大学の該当する「国立」への進学を希望する人は81.7%、「公立」が43.9%、「私立」が25.2%であった。

■高校卒業後の進路

Q1. あなたは、卒業後の進路をどのように考えていますか。
現在検討している進路すべてに○をつけてください。（複数選択可）

上段：% 下段：件数（名）	標本数	大学	短期大学	専門職大学	専門職短期大学	専門学校	就職	その他	無回答
全体	7,626	92.5 7,054	3.2 245	2.2 170	0.5 40	7.4 564	3.3 253	0.6 44	0.2 16

※「大学」「短期大学」「専門職大学」「専門職短期大学」のいずれかを選択した7,177名を抽出

■希望する大学等の区分（設置者）

Q2. **Q1で①～④を選択した方**に質問です。（※Q1で①～④を選択しなかった方は、Q3に進んでください。）
志望する大学等の設置者の希望を選択してください。
現在検討している（希望している）設置者すべてに○をつけてください。（複数選択可）

上段：% 下段：件数（名）	標本数	国立	公立	私立	無回答
全体	7,177	81.7 5,863	43.9 3,148	25.2 1,808	0.2 14
大学希望者	7,054	82.9 5,848	44.0 3,103	24.3 1,717	0.2 13

※大学希望者：Q1で卒業後の進路として「大学」を希望

興味のある学問分野

興味のある学問分野

- 回答者の興味のある学問分野を複数回答で聴取したところ、「保健（医学，薬学，看護学など）」が30.2％で最も高い。各学科の学びと関連する学問分野は以下の通り。

情報学，データサイエンス：18.1％ （「情報データ科学科」関連学科）

化学：10.2％ （「応用化学生物学科」関連学科）

生物学（生命科学など）：10.9％ （「応用化学生物学科」関連学科）

数学，物理学，地学 ：12.7％ （「環境数物科学科」関連学科）

電子制御・ロボット工学：9.6％ （「情報データ科学科」関連学科）

電気通信工学（電力，モータ，電気電子機器，電子材料工学など）：11.7％
（「環境数物科学科」「社会システム工学科」関連学科）

機械工学，土木建築工学，金属工学：15.8％ （「社会システム工学科」関連学科）

応用化学（先端材料（理）工学など）：6.4％
（「応用化学生物学科」「環境数物科学科」関連学科）

環境学：6.8％
（「応用化学生物学科」「環境数物科学科」「社会システム工学科」関連学科）

防災システム学：1.5％ （「情報データ科学科」「社会システム工学科」関連学科）

興味のある学問分野

- 回答者のうち、国立大学進学希望者に限定すると、興味のある学問分野は「保健（医学，薬学，看護学など）」が29.0％で最も高い。各学科の学びと関連する学問分野は以下の通り。

情報学，データサイエンス:20.6％ （「情報データ科学科」関連学科）

化学:12.2％ （「応用化学生物学科」関連学科）

生物学（生命科学など）:11.9％ （「応用化学生物学科」関連学科）

数学，物理学，地学 :15.5％ （「環境数物科学科」関連学科）

電子制御・ロボット工学:11.5％ （「情報データ科学科」関連学科）

電気通信工学（電力，モータ，電気電子機器，電子材料工学など）:13.7％
（「環境数物科学科」「社会システム工学科」関連学科）

機械工学，土木建築工学，金属工学:18.2％ （「社会システム工学科」関連学科）

応用化学（先端材料（理）工学など）:7.8％
（「応用化学生物学科」「環境数物科学科」関連学科）

環境学:7.8％
（「応用化学生物学科」「環境数物科学科」「社会システム工学科」関連学科）

防災システム学:1.6％ （「情報データ科学科」「社会システム工学科」関連学科）

＜国立大学進学希望者＞
① Q1で卒業後の進路として「大学」を希望。
② Q2で「国立」への進学を希望。

興味のある学問分野

■興味のある学問分野

Q3. ここからは**全員**にお聞きします。
高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。
以下の項目から、興味のある学問分野すべてに○をつけてください。（複数選択可）
※現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。

上段：% 下段：件数（名）	標本数	情報学，データサイエンス	化学	生物学（生命科学など）	数学，物理学，地学	電子制御・ロボット工学	電気通信工学（電力，モータ，電気電子機器，電子材料工学など）	機械工学，土木建築工学，金属工学	応用化学（先端材料（理）工学など）	環境学
全体	7,626	18.1 1,379	10.2 776	10.9 835	12.7 967	9.6 735	11.7 893	15.8 1,204	6.4 485	6.8 516

上段：% 下段：件数（名）	標本数	防災システム学	人文科学（文学，史学など）	社会科学（法学，経済学など）	農学（林学，水産学など）	保健（医学，薬学，看護学など）	その他	わからない	無回答
全体	7,626	1.5 113	10.4 790	13.3 1,015	9.0 684	30.2 2,303	16.5 1,258	3.5 270	0.3 22

＜国立大学進学希望者ベース＞

上段：% 下段：件数（名）	標本数	情報学，データサイエンス	化学	生物学（生命科学など）	数学，物理学，地学	電子制御・ロボット工学	電気通信工学（電力，モータ，電気電子機器，電子材料工学など）	機械工学，土木建築工学，金属工学	応用化学（先端材料（理）工学など）	環境学
国立大学 進学希望者	5,848	20.6 1,202	12.2 715	11.9 693	15.5 904	11.5 673	13.7 801	18.2 1,064	7.8 458	7.8 454

上段：% 下段：件数（名）	標本数	防災システム学	人文科学（文学，史学など）	社会科学（法学，経済学など）	農学（林学，水産学など）	保健（医学，薬学，看護学など）	その他	わからない	無回答
国立大学 進学希望者	5,848	1.6 93	10.5 613	13.6 798	10.2 599	29.0 1,693	13.4 782	2.4 143	0.2 10

※%の母数は、国立大学進学希望者（5,848名）

高校生対象

秋田大学「情報データ科学部　情報データ科学科」への受験・入学意向

※ここからは、下記の①～③の条件すべてに合致する回答者を、
秋田大学「情報データ科学部　情報データ科学科」のターゲット層と定義し、分析を行う。

① Q1で卒業後の進路として「大学」を希望。
② Q2で「国立」への進学を希望。
③ Q3で、「情報データ科学部　情報データ科学科」の学びと関連する学問分野への興味あり
（情報学，データサイエンス、電子制御・ロボット工学、防災システム学のいずれかに興味あり）

秋田大学「情報データ科学部　情報データ科学科」への受験・入学意向

- 上記の①～③の条件すべてに合致する回答者（情報データ科学部　情報データ科学科のターゲット層該当者）は、1,527名である。

- ターゲット層該当者の、「情報データ科学部　情報データ科学科」への受験意向、入学意向をみると、
  ◇「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人は88名
  ◇「第二志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人は8名
  ◇「第三志望以降として受験する」かつ「入学する」と回答した人は8名
  上記を合計すると、いずれかの志望順位で「入学する」と回答した人は、104名。

秋田大学「情報データ科学部　情報データ科学科」への受験・入学意向

■秋田大学「情報データ科学部　情報データ科学科」への受験・入学意向

Q5. あなたは、秋田大学「情報データ科学部」（仮称、設置構想中）、「総合環境理工学部」の各学科（仮称）が新設・改組された場合、受験を希望しますか。それぞれの学科について、次より1つずつ選択してください。

Q6. **Q5で①～③（受験する）を選択した学科**についてお答えください。
あなたは、秋田大学「情報データ科学部」（仮称、設置構想中）、「総合環境理工学部」の各学科（仮称）を受験して合格した場合、入学を希望しますか。それぞれの学科について、次より1つずつ選択してください。

上段：% 下段：件数（名）		入学意向		
		入学する	志望順位が上位の他の学科・志望校が不合格の場合に入学する	入学しない
受験意向	第一志望	1.2 88	0.3 25	0.1 7
	第二志望	0.1 8	0.9 67	0.0 1
	第三志望以降	0.1 8	3.3 251	0.3 20
	受験意向あり・合計	1.4 104	4.5 343	0.4 28
受験しない		13.4 1,024		

※%の母数は、回答者全体（7,626名）

高校生対象

秋田大学「情報データ科学部　情報データ科学科」：特色に対する魅力度

秋田大学「情報データ科学部　情報データ科学科」特色に対する魅力度

【情報データ科学部　情報データ科学科　ターゲット層】
下記の①～③の条件すべてに合致する回答者: 1,527名（回答者全体の20.0%）

① Q1で卒業後の進路として「大学」を希望。
② Q2で「国立」への進学を希望。
③ Q3で、「情報データ科学部　情報データ科学科」の学びと関連する学問分野への興味あり
（情報学, データサイエンス、電子制御・ロボット工学、防災システム学のいずれかに興味あり）

- ターゲット層における「情報データ科学部」の特色に対する魅力度（※）をみると、最も高いのは「A. 情報データ科学部では、入学後に様々な科目を学びながら、ITエンジニア、あるいは、データサイエンティスト等をめざすのかの将来の進路を選択することができます。」（92.1%）。次に高いのは「B. 1年次から、情報学やデータサイエンスを体系的に学び、情報技術の活用やデータ解析スキルを身に付けます。」（91.7%）である。

- ターゲット層該当者のうち、「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人（第一志望者）における「情報データ科学部」の特色に対する魅力度（※）をみると、最も高いのは「A. 情報データ科学部では、入学後に様々な科目を学びながら、ITエンジニア、あるいは、データサイエンティスト等をめざすのかの将来の進路を選択することができます。」「B. 1年次から、情報学やデータサイエンスを体系的に学び、情報技術の活用やデータ解析スキルを身に付けます。」（いずれも98.9%）である。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

秋田大学「情報データ科学部　情報データ科学科」：特色に対する魅力度

■秋田大学「情報データ科学部　情報データ科学科」：特色に対する魅力度

Q4. 秋田大学「情報データ科学部」（仮称）は、情報技術の知識とデータ解析スキルを活用して社会課題を解決し、新たな価値を創造できるデジタル人材育成をめざしています。また、「総合環境理工学部」（仮称）は、環境問題に関連した科学技術に関する教育を強化し、理工学に関する確かな専門性を身に付け、分野横断的な幅広い視野を持ち、他者と協調して課題を解決できる人材の育成をめざしています。それぞれの学部の以下のような特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

【情報データ科学部】

特色A. 情報データ科学部では、入学後に様々な科目を学びながら、ITエンジニア、あるいは、データサイエンティスト等をめざすのかの将来の進路を選択することができます。

特色B. 1年次から、情報学やデータサイエンスを体系的に学び、情報技術の活用やデータ解析スキルを身に付けます。

特色C. 3年次からは、情報学やデータサイエンスを活用し社会課題を解決するための人間情報系、知能ロボティクス系、防災・エネルギー情報系の応用分野を志向に合わせて選択し、専門性を身に付けます。

特色D. アントレプレナーシップ（急激な社会環境の変化を受容し、新たな価値を生み出す精神）を育むため、課題解決型授業を通じて実践力を磨きます。

上段：% 下段：件数（名）	標本数	特色A	特色B	特色C	特色D
ターゲット層	1,527	92.1 1,407	91.7 1,401	85.1 1,299	77.2 1,179
第一志望者	88	98.9 87	98.9 87	90.9 80	92.0 81

※第一志望者：
ターゲット層（大学進学希望×国立×関連学問分野興味あり）該当者のうち、
秋田大学「情報データ科学部　情報データ科学科」を「第一志望として受験する」かつ
「入学する」と回答した人

高校生対象

秋田大学「総合環境理工学部　応用化学生物学科」への受験・入学意向

※ここからは、下記の①～③の条件すべてに合致する回答者を、
秋田大学「総合環境理工学部　応用化学生物学科」のターゲット層と定義し、分析を行う。

① Q1で卒業後の進路として「大学」を希望。
② Q2で「国立」への進学を希望。
③ Q3で、「情報データ科学部　応用化学生物学科」の学びと関連する学問分野への興味あり
（化学、生物学（生命科学など）、応用化学（先端材料（理）工学など）、環境学のいずれかに興味あり）

秋田大学「総合環境理工学部　応用化学生物学科」への受験・入学意向

- 上記の①～③の条件すべてに合致する回答者（総合環境理工学部　応用化学生物学科のターゲット層該当者）は、1,603名である。

- ターゲット層該当者の、「総合環境理工学部　応用化学生物学科」への受験意向、入学意向をみると、
  ◇「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人は32名
  ◇「第二志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人は6名
  ◇「第三志望以降として受験する」かつ「入学する」と回答した人は11名
  上記を合計すると、いずれかの志望順位で「入学する」と回答した人は、49名。

秋田大学「総合環境理工学部　応用化学生物学科」への受験・入学意向

■秋田大学「総合環境理工学部　応用化学生物学科」への受験・入学意向

Q5. あなたは、秋田大学「情報データ科学部」（仮称、設置構想中）、「総合環境理工学部」の各学科（仮称）が新設・改組された場合、受験を希望しますか。それぞれの学科について、次より1つずつ選択してください。

Q6. **Q5で①～③（受験する）を選択した学科**についてお答えください。
あなたは、秋田大学「情報データ科学部」（仮称、設置構想中）、「総合環境理工学部」の各学科（仮称）を受験して合格した場合、入学を希望しますか。それぞれの学科について、次より1つずつ選択してください。

上段：% 下段：件数（名）		入学意向		
		入学する	志望順位が上位の他の学科・志望校が不合格の場合に入学する	入学しない
受験意向	第一志望	0.4 32	0.3 20	0.1 4
	第二志望	0.1 6	0.5 37	0.1 5
	第三志望以降	0.1 11	2.3 173	0.2 13
	受験意向あり・合計	0.6 49	3.1 230	0.4 22
受験しない		16.5 1,261		

※%の母数は、回答者全体（7,626名）

高校生対象

秋田大学「総合環境理工学部　応用化学生物学科」：特色に対する魅力度

秋田大学「総合環境理工学部　応用化学生物学科」特色に対する魅力度

【総合環境理工学部　応用化学生物学科　ターゲット層】
下記の①～③の条件すべてに合致する回答者: 1,603名（回答者全体の21.0%）

① Q1で卒業後の進路として「大学」を希望。
② Q2で「国立」への進学を希望。
③ Q3で、「総合環境理工学部　応用化学生物学科」の学びと関連する学問分野への興味あり
（化学、生物学（生命科学など）、応用化学（先端材料（理）工学など）、環境学のいずれかに興味あり）

- ターゲット層における「総合環境理工学部」の特色に対する魅力度（※）をみると、最も高いのは「H. 専門性が異なる人と共創できる能力を育むため分野横断教育を強化し、他者と協調して総合的に課題を解決できる人材を養成します。」（80.0%）。次に高いのは「F. 時代のニーズに合わせた専門分野の深掘りを行うと同時に、時代の変化に影響されない理工学の基礎的学問体系を教授し、応用力のある人材を養成します。」（79.7%）である。

- ターゲット層該当者のうち、「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人（第一志望者）における「総合環境理工学部」の特色に対する魅力度（※）をみると、最も高いのは「G. 「応用化学生物学科」「環境数物科学科」「社会システム工学科」の3学科体制とし、それぞれの学科に配置する専門教育プログラムにより、高い専門性を涵養します。」（96.9%）。次に高いのは「F. 時代のニーズに合わせた専門分野の深掘りを行うと同時に、時代の変化に影響されない理工学の基礎的学問体系を教授し、応用力のある人材を養成します。」「H. 専門性が異なる人と共創できる能力を育むため分野横断教育を強化し、他者と協調して総合的に課題を解決できる人材を養成します。」（いずれも93.8%）である。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

秋田大学「総合環境理工学部　応用化学生物学科」：特色に対する魅力度

■秋田大学「総合環境理工学部　応用化学生物学科」：特色に対する魅力度

Q4. 秋田大学「情報データ科学部」（仮称）は、情報技術の知識とデータ解析スキルを活用して社会課題を解決し、新たな価値を創造できるデジタル人材育成をめざしています。また、「総合環境理工学部」（仮称）は、環境問題に関連した科学技術に関する教育を強化し、理工学に関する確かな専門性を身に付け、分野横断的な幅広い視野を持ち、他者と協調して課題を解決できる人材の育成をめざしています。それぞれの学部の以下のような特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

【総合環境理工学部】

特色E. グリーン社会実現に向けた先端科学技術に関する知識、専門分野にデジタル技術を活用できる基礎知識・技術を教授します。

特色F. 時代のニーズに合わせた専門分野の深掘りを行うと同時に、時代の変化に影響されない理工学の基礎的学問体系を教授し、応用力のある人材を養成します。

特色G. 「応用化学生物学科」「環境数物科学科」「社会システム工学科」の3学科体制とし、それぞれの学科に配置する専門教育プログラムにより、高い専門性を涵養します。

特色H. 専門性が異なる人と共創できる能力を育むため分野横断教育を強化し、他者と協調して総合的に課題を解決できる人材を養成します。

上段：% 下段：件数（名）	標本数	特色E	特色F	特色G	特色H
ターゲット層	1,603	78.1 1,252	79.7 1,277	79.4 1,272	80.0 1,283
第一志望者	32	90.6 29	93.8 30	96.9 31	93.8 30

※第一志望者：
ターゲット層（大学進学希望×国立×関連学問分野興味あり）該当者のうち、
秋田大学「総合環境理工学部　応用化学生物学科」を「第一志望として受験する」かつ
「入学する」と回答した人

高校生対象

秋田大学「総合環境理工学部 環境数物科学科」への受験・入学意向

※ここからは、下記の①～③の条件すべてに合致する回答者を、
秋田大学「総合環境理工学部　環境数物科学科」のターゲット層と定義し、分析を行う。

① Q1で卒業後の進路として「大学」を希望。
② Q2で「国立」への進学を希望。
③ Q3で、「総合環境理工学部　環境数物科学科」の学びと関連する学問分野への興味あり
（数学，物理学，地学、電気通信工学（電力，モータ，電気電子機器，電子材料工学など）、応用化学（先端材料（理）工学など）、環境学のいずれかに興味あり）

秋田大学「総合環境理工学部　環境数物科学科」への受験・入学意向

- 上記の①～③の条件すべてに合致する回答者（総合環境理工学部　環境数物科学科のターゲット層該当者）は、2,032名である。

- ターゲット層該当者の、「総合環境理工学部　環境数物科学科」への受験意向、入学意向をみると、
  ◇「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人は28名
  ◇「第二志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人は7名
  ◇「第三志望以降として受験する」かつ「入学する」と回答した人は5名
  上記を合計すると、いずれかの志望順位で「入学する」と回答した人は、40名。

秋田大学「総合環境理工学部 環境数物科学科」への受験・入学意向

■秋田大学「総合環境理工学部　環境数物科学科」への受験・入学意向

Q5. あなたは、秋田大学「情報データ科学部」（仮称、設置構想中）、「総合環境理工学部」の各学科（仮称）が新設・改組された場合、受験を希望しますか。それぞれの学科について、次より1つずつ選択してください。

Q6. **Q5で①～③（受験する）を選択した学科**についてお答えください。
あなたは、秋田大学「情報データ科学部」（仮称、設置構想中）、「総合環境理工学部」の各学科（仮称）を受験して合格した場合、入学を希望しますか。それぞれの学科について、次より1つずつ選択してください。

上段：% 下段：件数（名）		入学意向		
		入学する	志望順位が上位の他の学科・志望校が不合格の場合に入学する	入学しない
受験意向	第一志望	0.4 28	0.1 9	0.0 1
	第二志望	0.1 7	0.5 41	0.1 8
	第三志望以降	0.1 5	2.0 150	0.4 31
	受験意向あり・合計	0.6 40	2.6 200	0.5 40
受験しない		22.4 1,706		

※%の母数は、回答者全体（7,626名）

高校生対象

秋田大学「総合環境理工学部 環境数物科学科」：特色に対する魅力度

秋田大学「総合環境理工学部　環境数物科学科」特色に対する魅力度

【総合環境理工学部　環境数物科学科　ターゲット層】
下記の①～③の条件すべてに合致する回答者: 2,032名（回答者全体の26.6%）

① Q1で卒業後の進路として「大学」を希望。
② Q2で「国立」への進学を希望。
③ Q3で、「総合環境理工学部　環境数物科学科」の学びと関連する学問分野への興味あり
（数学，物理学，地学、電気通信工学（電力，モータ，電気電子機器，電子材料工学など）、応用化学（先端材料（理）工学など）、環境学のいずれかに興味あり）

- ターゲット層における「総合環境理工学部」の特色に対する魅力度（※）をみると、最も高いのは「F. 時代のニーズに合わせた専門分野の深掘りを行うと同時に、時代の変化に影響されない理工学の基礎的学問体系を教授し、応用力のある人材を養成します。」（82.1%）。次に高いのは「H. 専門性が異なる人と共創できる能力を育むため分野横断教育を強化し、他者と協調して総合的に課題を解決できる人材を養成します。」（81.2%）である。

- ターゲット層該当者のうち、「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人（第一志望者）における「総合環境理工学部」の特色に対する魅力度（※）をみると、最も高いのは「H. 専門性が異なる人と共創できる能力を育むため分野横断教育を強化し、他者と協調して総合的に課題を解決できる人材を養成します。」（92.9%）。次に高いのは「F. 時代のニーズに合わせた専門分野の深掘りを行うと同時に、時代の変化に影響されない理工学の基礎的学問体系を教授し、応用力のある人材を養成します。」「G. 「応用化学生物学科」「環境数物科学科」「社会システム工学科」の3学科体制とし、それぞれの学科に配置する専門教育プログラムにより、高い専門性を涵養します。」（いずれも89.3%）である。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

秋田大学「総合環境理工学部 環境数物科学科」：特色に対する魅力度

■秋田大学「総合環境理工学部　環境数物科学科」：特色に対する魅力度

Q4. 秋田大学「情報データ科学部」（仮称）は、情報技術の知識とデータ解析スキルを活用して社会課題を解決し、新たな価値を創造できるデジタル人材育成をめざしています。また、「総合環境理工学部」（仮称）は、環境問題に関連した科学技術に関する教育を強化し、理工学に関する確かな専門性を身に付け、分野横断的な幅広い視野を持ち、他者と協調して課題を解決できる人材の育成をめざしています。それぞれの学部の以下のような特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

【総合環境理工学部】

特色E. グリーン社会実現に向けた先端科学技術に関する知識、専門分野にデジタル技術を活用できる基礎知識・技術を教授します。

特色F. 時代のニーズに合わせた専門分野の深掘りを行うと同時に、時代の変化に影響されない理工学の基礎的学問体系を教授し、応用力のある人材を養成します。

特色G. 「応用化学生物学科」「環境数物科学科」「社会システム工学科」の3学科体制とし、それぞれの学科に配置する専門教育プログラムにより、高い専門性を涵養します。

特色H. 専門性が異なる人と共創できる能力を育むため分野横断教育を強化し、他者と協調して総合的に課題を解決できる人材を養成します。

上段：% 下段：件数（名）	標本数	特色E	特色F	特色G	特色H
ターゲット層	2,032	79.2 1,610	82.1 1,669	78.2 1,589	81.2 1,650
第一志望者	28	85.7 24	89.3 25	89.3 25	92.9 26

※第一志望者：
ターゲット層（大学進学希望×国立×関連学問分野興味あり）該当者のうち、
秋田大学「総合環境理工学部　環境数物科学科」を「第一志望として受験する」かつ
「入学する」と回答した人

高校生対象

秋田大学「総合環境理工学部 社会システム工学科」への受験・入学意向

※ここからは、下記の①～③の条件すべてに合致する回答者を、
秋田大学「総合環境理工学部　社会システム工学科」のターゲット層と定義し、分析を行う。

① Q1で卒業後の進路として「大学」を希望。
② Q2で「国立」への進学を希望。
③ Q3で、「総合環境理工学部　社会システム工学科」の学びと関連する学問分野への興味あり
（電気通信工学（電力，モータ，電気電子機器，電子材料工学など）、機械工学，土木建築工学，金属工学、環境学、防災システム学のいずれかに興味あり）

秋田大学「総合環境理工学部　社会システム工学科」への受験・入学意向

- 上記の①～③の条件すべてに合致する回答者（総合環境理工学部　社会システム工学科のターゲット層該当者）は、1,768名である。

- ターゲット層該当者の、「総合環境理工学部　社会システム工学科」への受験意向、入学意向をみると、
  ◇「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人は25名
  ◇「第二志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人は5名
  ◇「第三志望以降として受験する」かつ「入学する」と回答した人は7名
  上記を合計すると、いずれかの志望順位で「入学する」と回答した人は、37名。

秋田大学「総合環境理工学部 社会システム工学科」への受験・入学意向

■秋田大学「総合環境理工学部　社会システム工学科」への受験・入学意向

Q5. あなたは、秋田大学「情報データ科学部」（仮称、設置構想中）、「総合環境理工学部」の各学科（仮称）が新設・改組された場合、受験を希望しますか。それぞれの学科について、次より1つずつ選択してください。

Q6. **Q5で①～③（受験する）を選択した学科**についてお答えください。
あなたは、秋田大学「情報データ科学部」（仮称、設置構想中）、「総合環境理工学部」の各学科（仮称）を受験して合格した場合、入学を希望しますか。それぞれの学科について、次より1つずつ選択してください。

上段：% 下段：件数（名）		入学意向		
		入学する	志望順位が上位の他の学科・志望校が不合格の場合に入学する	入学しない
受験意向	第一志望	0.3 25	0.1 10	0.0 1
	第二志望	0.1 5	0.4 29	0.1 5
	第三志望以降	0.1 7	1.6 120	0.2 18
	受験意向あり・合計	0.5 37	2.1 159	0.3 24
受験しない		19.7 1,501		

※%の母数は、回答者全体（7,626名）

高校生対象

秋田大学「総合環境理工学部 社会システム工学科」：特色に対する魅力度

秋田大学「総合環境理工学部　社会システム工学科」 特色に対する魅力度

【総合環境理工学部　社会システム工学科　ターゲット層】
下記の①～③の条件すべてに合致する回答者: 1,768名（回答者全体の23.2%）

① Q1で卒業後の進路として「大学」を希望。
② Q2で「国立」への進学を希望。
③ Q3で、「総合環境理工学部　社会システム工学科」の学びと関連する学問分野への興味あり
（電気通信工学（電力，モータ，電気電子機器，電子材料工学など）、機械工学，土木建築工学，金属工学、環境学、防災システム学のいずれかに興味あり）

- ターゲット層における「総合環境理工学部」の特色に対する魅力度（※）をみると、最も高いのは「F. 時代のニーズに合わせた専門分野の深掘りを行うと同時に、時代の変化に影響されない理工学の基礎的学問体系を教授し、応用力のある人材を養成します。」（81.4%）。次に高いのは「E. グリーン社会実現に向けた先端科学技術に関する知識、専門分野にデジタル技術を活用できる基礎知識・技術を教授します。」（80.9%）である。

- ターゲット層該当者のうち、「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人（第一志望者）における「総合環境理工学部」の特色に対する魅力度（※）をみると、最も高いのは「E. グリーン社会実現に向けた先端科学技術に関する知識、専門分野にデジタル技術を活用できる基礎知識・技術を教授します。」（100.0%）。次いで「F. 時代のニーズに合わせた専門分野の深掘りを行うと同時に、時代の変化に影響されない理工学の基礎的学問体系を教授し、応用力のある人材を養成します。」「G. 「応用化学生物学科」「環境数物科学科」「社会システム工学科」の3学科体制とし、それぞれの学科に配置する専門教育プログラムにより、高い専門性を涵養します。」「H. 専門性が異なる人と共創できる能力を育むため分野横断教育を強化し、他者と協調して総合的に課題を解決できる人材を養成します。」は同率（いずれも96.0%）である。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

秋田大学「総合環境理工学部 社会システム工学科」：特色に対する魅力度

■秋田大学「総合環境理工学部　社会システム工学科」：特色に対する魅力度

Q4. 秋田大学「情報データ科学部」（仮称）は、情報技術の知識とデータ解析スキルを活用して社会課題を解決し、新たな価値を創造できるデジタル人材育成をめざしています。また、「総合環境理工学部」（仮称）は、環境問題に関連した科学技術に関する教育を強化し、理工学に関する確かな専門性を身に付け、分野横断的な幅広い視野を持ち、他者と協調して課題を解決できる人材の育成をめざしています。それぞれの学部の以下のような特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

【総合環境理工学部】

特色E. グリーン社会実現に向けた先端科学技術に関する知識、専門分野にデジタル技術を活用できる基礎知識・技術を教授します。

特色F. 時代のニーズに合わせた専門分野の深掘りを行うと同時に、時代の変化に影響されない理工学の基礎的学問体系を教授し、応用力のある人材を養成します。

特色G. 「応用化学生物学科」「環境数物科学科」「社会システム工学科」の3学科体制とし、それぞれの学科に配置する専門教育プログラムにより、高い専門性を涵養します。

特色H. 専門性が異なる人と共創できる能力を育むため分野横断教育を強化し、他者と協調して総合的に課題を解決できる人材を養成します。

上段：% 下段：件数（名）	標本数	特色E	特色F	特色G	特色H
ターゲット層	1,768	80.9 1,431	81.4 1,439	77.3 1,366	80.2 1,418
第一志望者	25	100.0 25	96.0 24	96.0 24	96.0 24

※第一志望者：
ターゲット層（大学進学希望×国立×関連学問分野興味あり）該当者のうち、
秋田大学「総合環境理工学部　社会システム工学科」を「第一志望として受験する」かつ
「入学する」と回答した人

巻末資料　調査票

高校生対象

調査票

秋田大学「情報データ科学部」（仮称、設置構想中）、「総合環境理工学部」（仮称）に関するアンケート

秋田大学では2025年（令和7年）4月に、「情報データ科学部」（仮称）の新設と「総合環境理工学部」（仮称）の改組を構想しています。
このアンケートは、高校生のみなさんの進路選択に対する考え方や、大学で学びたいことなどの意見をお伺いし、秋田大学の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただくものです。
このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。また、回答いただいた内容が、高校生のみなさんの本学への入学に影響を及ぼすことは一切ありません。
つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ このアンケートや同封した資料に記載されている「情報データ科学部」（仮称、設置構想中）、「総合環境理工学部」（仮称）に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

記入要領

1. 回答は、**あてはまる番号に「○」印**をつけてください。
2. この用紙は、電算処理しますので汚さないようにしてください。
3. 記入は、必ず**鉛筆又はシャープペンシル**で濃く書いてください。
4. 下記の【良い記入例】にしたがって記入してください。
   特に、**「○」印は、番号丸枠からはみ出さないように**つけてください。

ここに○印をつけてください → ① 情報学

ID 85
この欄には記入しないでください

良い記入例	悪い記入例				
① 情報学 ② 化学	① 情報学 ② 化学	① 情報学 ② 化学	① 情報学 ② 化学	① 情報学 ② 化学	① 情報学 ② 化学

◆最初にあなた自身についてお聞きします。

性別（1つに○）	① 男性	② 女性	③ 回答しない
学年（1つに○）	① 1年生	② 2年生	③ 3年生
在籍している高校名	高校所在地［　　］都・道・府・県 ① 国立　② 公立　③ 私立　（←1つに○）［　　］高等学校		
所属クラス（1つに○）	① 文系クラス（文系コース） ② 理系クラス（理系コース）	③ コース選択はない ④ その他	

◆高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きします。

Q 1 あなたは、卒業後の進路をどのように考えていますか。
現在検討している進路すべてに○をつけてください。（複数選択可）

① 大学　② 短期大学　③ 専門職大学　④ 専門職短期大学　⑤ 専門学校　⑥ 就職　⑦ その他

Q 2 **Q 1で①～④を選択した方**に質問です。（※Q 1で①～④を選択しなかった方は、Q 3に進んでください。）
志望する大学等の設置者の希望を選択してください。
現在検討している（希望している）設置者すべてに○をつけてください。（複数選択可）

① 国立　② 公立　③ 私立

Q 3 ここからは**全員**にお聞きします。
高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。
以下の項目から、興味のある学問分野すべてに○をつけてください。（複数選択可）
※現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。

① 情報学,データサイエンス
② 化学
③ 生物学（生命科学など）
④ 数学,物理学,地学
⑤ 電子制御・ロボット工学
⑥ 電気通信工学（電力,モータ,電気電子機器,電子材料工学など）
⑦ 機械工学,土木建築工学,金属工学
⑧ 応用化学（先端材料(理)工学など）
⑨ 環境学
⑩ 防災システム学
⑪ 人文科学（文学,史学など）
⑫ 社会科学（法学,経済学など）
⑬ 農学（林学,水産学など）
⑭ 保健（医学,薬学,看護学など）
⑮ その他
⑯ わからない

裏面へ続く→

高校生対象

調査票

◆秋田大学「情報データ科学部」（仮称、設置構想中）、「総合環境理工学部」（仮称）についてお聞きします。

秋田大学では、現在高校２年生のみなさんが大学生となる2025年（令和7年）4月に、
「情報データ科学部」（仮称）の新設と「総合環境理工学部」（仮称）の改組を構想しています。

※ ここからは、アンケートに同封している資料を見てからお答えください ※

Q４ 秋田大学「情報データ科学部」（仮称）は、情報技術の知識とデータ解析スキルを活用して社会課題を解決し、新たな価値を創造できるデジタル人材育成をめざしています。また、「総合環境理工学部」（仮称）は、環境問題に関連した科学技術に関する教育を強化し、理工学に関する確かな専門性を身に付け、分野横断的な幅広い視野を持ち、他者と協調して課題を解決できる人材の育成をめざしています。それぞれの学部の以下のような特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。
（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

				とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない
	例.	〇〇である。	→	①	●	③	④
情報データ科学部	A.	情報データ科学部では、入学後に様々な科目を学びながら、ITエンジニア、あるいは、データサイエンティスト等をめざすのかの将来の進路を選択することができます。	→	①	②	③	④
情報データ科学部	B.	1年次から、情報学やデータサイエンスを体系的に学び、情報技術の活用やデータ解析スキルを身に付けます。	→	①	②	③	④
情報データ科学部	C.	3年次からは、情報学やデータサイエンスを活用し社会課題を解決するための人間情報系、知能ロボティクス系、防災・エネルギー情報系の応用分野を志向に合わせて選択し、専門性を身に付けます。	→	①	②	③	④
情報データ科学部	D.	アントレプレナーシップ（急激な社会環境の変化を受容し、新たな価値を生み出す精神）を育むため、課題解決型授業を通じて実践力を磨きます。	→	①	②	③	④
総合環境理工学部	E.	グリーン社会実現に向けた先端科学技術に関する知識、専門分野にデジタル技術を活用できる基礎知識・技術を教授します。	→	①	②	③	④
総合環境理工学部	F.	時代のニーズに合わせた専門分野の深掘りを行うと同時に、時代の変化に影響されない理工学の基礎的学問体系を教授し、応用力のある人材を養成します。	→	①	②	③	④
総合環境理工学部	G.	「応用化学生物学科」「環境数物科学科」「社会システム工学科」の3学科体制とし、それぞれの学科に配置する専門教育プログラムにより、高い専門性を涵養します。	→	①	②	③	④
総合環境理工学部	H.	専門性が異なる人と共創できる能力を育むため分野横断教育を強化し、他者と協調して総合的に課題を解決できる人材を養成します。	→	①	②	③	④

Q５ あなたは、秋田大学「情報データ科学部」（仮称、設置構想中）、「総合環境理工学部」の各学科（仮称）が新設・改組された場合、受験を希望しますか。それぞれの学科について、次より１つずつ選択してください。

			第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する	受験しない
情報データ科学部	情報データ科学科	⇒	①	②	③	④
総合環境理工学部	応用化学生物学科	⇒	①	②	③	④
総合環境理工学部	環境数物科学科	⇒	①	②	③	④
総合環境理工学部	社会システム工学科	⇒	①	②	③	④

※第一志望、第二志望は選択する志望順位が重ならないようにご回答ください。

Q６ **Q５で①～③（受験する）を選択した学科**についてお答えください。
あなたは、秋田大学「情報データ科学部」（仮称、設置構想中）、「総合環境理工学部」の各学科（仮称）を受験して合格した場合、入学を希望しますか。それぞれの学科について、次より１つずつ選択してください。

			入学する	志望順位が上位の他の学科・志望校が不合格の場合に入学する	入学しない
情報データ科学部	情報データ科学科	⇒	①	②	③
総合環境理工学部	応用化学生物学科	⇒	①	②	③
総合環境理工学部	環境数物科学科	⇒	①	②	③
総合環境理工学部	社会システム工学科	⇒	①	②	③

※「入学する」を選択した学科が1個または0個となるようにご回答ください。

＊ ＊ ＊ 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。 ＊ ＊ ＊

アドミッション・ポリシー（抜粋）

【知識・技能の評価】

（1）情報学・データサイエンスを学ぶために必要な数学や英語の基礎学力を身につけている。

【思考力・判断力・表現力】

（2）論理的に物事を考え、自身の考えを文章あるいは口頭で表現できる。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

（3）情報社会に深い関心と興味を持ち、社会課題の解決および新たな価値の創造に強い意欲を持っている。

（4）基本的なコミュニケーション力を備え、多様な考えや意見に耳を傾けて対話できる。

入学試験情報（予定）

情報データ科学部　情報データ科学科

入学定員	一般選抜		特別入試	
	前期日程	後期日程	総合型選抜Ⅰ	総合型選抜Ⅱ
100名	60名	10名	20名	10名

学費情報（令和5年度現在）

入学料（予定額）	282,000円
授業料（予定額）	年額535,800円（半期267,900円）

※授業料の改訂が行われた場合には、改訂時から新しい授業料が適用されます。

情報データ科学部に関するQ&A

Q1 文系出身でも情報学やデータサイエンスを学ぶことはできますか？

はい。情報学やデータサイエンスの基盤となるのは数学の知識ですが、本学部では文系出身で数学Ⅲを学んでいない方や、理系出身であっても苦手だった方向けの「入門数学」という科目を用意しています。

本格的な情報系の学びを始める前に、数学の中で特に必要な分野に重点を置いて短期的に学ぶことで、どんな方でもスムーズに専門教育に進むことができるカリキュラムとしています。

Q2 秋田大学の他に情報学やデータサイエンスを専門的に学べる大学はありますか？

日本で初めてデータサイエンスを中心とした学部を設置したのは滋賀大学（データサイエンス学部）でした。その後も全国に情報学やデータサイエンスを学べる類似の学部が設置されています。

一方、東北地方に目を向けると、私立大学では東北学院大学に情報学部があるものの、国立大学において独立した情報系の学部を設置している大学はいまだありません。

本学部は、東北地方の国立大学において初の情報学・データサイエンス系の学部として、地域のデジタル化を推進できる、あるいは、日本の情報関連産業をけん引できる人材の育成を目指しています。

Q3 どのような資格などを取得できますか？

所定の科目を履修することで、高等学校教諭第一種免許状（情報）を取得することができます。また、ITに関する基本的な知識を証明できる国家試験（ITパスポート試験や基礎情報技術者試験など）にも挑戦することができます。

アクセス

■秋田まで

●飛行機

札幌から ―― 約1時間

東京から ―― 約1時間

名古屋から ―― 約1時間30分

大阪から ―― 約1時間30分

●新幹線

東京から ―― 約4時間

仙台から ―― 約2時間15分

■JR秋田駅から、秋田大学手形キャンパスまで約1.3km

●徒歩：秋田駅東口から約15分

●バス：秋田駅西口バスのりば 12番線から秋田中央交通手形山大学病院線 約5分「秋田大学前」下車

秋田大学 総務企画課　新学部設置・学部改組準備室

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1

Tel.018-889-2268　Fax.018-889-2219

E-mail : ds_somu@jimu.akita-u.ac.jp

2023年10月発行

※記載内容について、今後変更することもありますので、ご注意ください。

秋田大学
Akita University

国立大学法人 秋田大学

情報データ科学部

※仮称、設置構想中

2025年4月開設

デジタル社会で活躍する
ITエンジニア・データサイエンティストを育成

様々な分野で活躍できる人材育成の3つのポイント

① 情報技術やデータサイエンスを活用できる教育

② 社会課題を解決するための応用分野に関する教育

③ アントレプレナーシップを養う教育

～ 情報技術やデータサイエンスを活用し未来をつくろう ～

文系の方・理系の方ともに受験可能！

Akita University
Faculty of Informatics and Data Science

※記載内容について、今後変更することもありますので、ご注意ください。

設置の理念と養成する人材像

設置の理念

コンピュータ技術の発展により高度情報社会となりましたが、Society 5.0のような新たなデジタル社会を構築していくためには、世の中にあふれる様々な情報やデータを収集して分析し、社会課題を解決する新たな価値を創造できる「デジタル人材」が必要とされており、情報データ科学部では、以下のように養成する人材像を定めています。

養成する人材像

情報学とデータサイエンスを体系的に学び、身に付けた情報技術の知識とデータ解析スキルを活用して諸課題の解決を図り、新たな価値を創造し実装することができるデジタル人材を養成します。

情報データ科学部における学びの特色

情報データ科学部は、入学後に様々な科目を学び、知識や技能を身に付けていく中で、ITエンジニアやデータサイエンティストなどを目指すのか、あるいは、大学院に進学してより専門性を高めるのかを選択できるよう「情報データ科学科」の1学科編成からなる教育課程で、以下の3つの学びの特色があります。

① 情報学・データサイエンスを体系的に学べる教育課程

情報学・データサイエンスに関する知識や技能を基礎から身に付けるため、入学時から体系的に学ぶことができる教育課程となっています。

② 情報学・データサイエンスを応用する科目を設定

本学部では，人を中心とする情報技術に関する「人間情報系」、人間の日常生活における動作支援に関する「知能ロボティクス系」、安全・安心な地域づくりに関する「防災・エネルギー情報系」の3つを、応用分野（研究対象）として科目群を設定し、学生の志向に合わせた教育を行います。

③ アントレプレナーシップの養成

アントレプレナーシップとは、急激な社会環境の変化を受容し、新たな価値を生み出す精神であり、デジタル社会PBL科目において、実践力を磨く教育を行います。

教育課程の概要

入学

高校での文理の区別によらず受験可能な入試を実施

教養基礎教育

【基礎教育科目】
- 基礎微分積分学
- 基礎統計学 など

【教養教育科目】
- 初年次ゼミ
- 大学英語 など

※1~2年次で履修する科目
数学や幅広い教養を身に付ける

専門教育

① 情報学・データサイエンス基盤科目

【データサイエンス系】
- 基礎AI学
- 機械学習 など

【コンピュータサイエンス系】
- 基礎情報学
- Cプログラミング など

【ネットワーク系】
- 情報セキュリティ
- IoTとネットワーク など

【人間情報系コア】
- ヒューマンコンピュータインタラクション など

※1～3年次で履修する科目

② 情報学・データサイエンス応用科目 ※3年次で選択履修する科目群

【人間情報系】
- データサイエンスとオープンデータ
- 応用生体計測 など

【知能ロボティクス系】
- ロボット制御プログラミング
- 生体運動計測とデータサイエンス など

【防災・エネルギー情報系】
- 都市災害シミュレーション
- エネルギーとデータサイエンス など

③ デジタル社会PBL科目

【デジタル社会PBL】
- デジタル社会のプラクティス
- DXプロジェクト実践
- ベンチャービジネス論
- データサイエンスとマーケティング
- 地域経済とICTビジネス など

※1～3年次で履修する科目

卒業研究

【卒業研究】 ● 卒業研究課題 ● 研究プロポーザル ※4年次で履修する科目

1年次 / 2年次 / 3年次 / 4年次

卒業後は、さらなる専門性を高める大学院進学 or 様々な分野におけるデジタル人材として活躍

ITエンジニア等 | システムエンジニア等 | 防災システム等のデータサイエンティスト | 官公庁・金融・観光等のデータサイエンティスト | 大学院

IT業界で活躍しているOBからのメッセージ

平成27年3月修了 博士（工学）
村上 龍希さん（秋田県出身）
現 ヤフー株式会社
テクノロジーグループサイエンス統括本部
在学中は、
「感性情報を考慮した人物画像処理の開発に関する研究」に従事

※社名・所属は取材時点(2023年9月)のものです。

現在の職務内容について

私はヤフー株式会社でディスプレイ広告のサービス改善に従事しており、現在は予約型広告（掲載期間と表示回数を保証する広告）の在庫予測・配信計画システムや、組織内共有ツールの開発・運用をリードしています。「Yahoo! JAPAN」は、月間約830億のページビューと約8500万人のアクティブユーザーを誇り、大規模なユーザーデータを有しています。私の担当している広告を含むヤフーのサービスは、このビッグデータから新たな価値を創出しサービス改善に取り組んでいます。まさにデータサイエンスが仕事に直結していると言えます。

仕事のやりがい

とても多くの人々が私たちのサービスを利用しているため、サービスを止めることなく、常に内容を更新していくことに大きな責任を感じています。一方で、サービス改善がインターネットユーザー、広告主、提携パートナーなど広い範囲に届けられていく様子には、大きな達成感があります。また、サービス改善につながる仮説を立て、データ分析による裏付けを行い、その仮説をもとに仕組みをアップデートする、という一連の過程を迅速に進めることもやりがいの一つです。

情報データ科学部で学ぼうとする方へのメッセージ

昨今の生成AIの登場により、手軽に機械学習を利用することが可能になったため、データサイエンスの門戸はますます広がっています。デジタル社会における課題は何か？どのようなデータをどのように活用して解決するのか？などの発想やアプローチの創出が求められています。情報データ科学部の学びは、まさに課題の解決に必要なデータ解析と新たな価値創出のスキルを身に付けられるため、この学部の卒業生は、新たなデジタル社会へ変わりつつある日本や世界の発展に大きく貢献できるでしょう。

情報学・データサイエンスを学ぶ学生からのメッセージ

（現）人間情報工学コース学部4年次
宮古 菜々さん（秋田県出身）
〈研究分野〉
感性の計測・評価、カラーマネジメント、ヒューマンインタフェース
「CAPTCHAへの適用を目的としたディスプレイ表示色名の認識範囲解析」

情報学はどんな学問ですか？

情報学とは、デジタル技術を用いて人の暮らしを豊かにする学問です。私たちが想像する近未来を創る技術について学び、開発にも携われるという面白さがあります。例えば、人間の生体情報を数値化して医療・福祉に役立てたり、AIを使うことで単調で大変な仕事を自動化したりすることができます。

私は、スマートフォンなどの画面に表示される色の感じ方を解析する研究を行っています。Webページの入力フォームで人間による入力であることを確かめるために、歪んだ文字の画像(CAPTCHA)が表示されることがありますが、この画像の文字に色を付けて、人間にだけ正解を伝えられる仕組みを考えています。

将来の夢（就きたい仕事）などは？

これまで一緒に扱われてこなかったコトやモノを繋ぎ合わせて新しい技術を開発することが私の目標です。機械がどれだけ賢くなったとしても、それを生み出し、利用するのは人です。デジタル化していく社会の中で、“人が使いやすいもの”を模索していきたいと考えています。

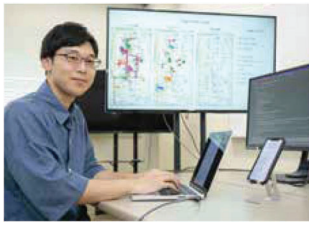
秋田大学のおすすめポイント＆アドバイスを！

秋田大学では、人間社会に密接に関わる情報学を学ぶことができます。机上の空論で終わるのではなく、今学んでいることが社会でどのように役に立っているのかを、実感できる機会が多いと感じています。

プログラミングができなくても大丈夫です！私は、大学に入学してから初めてプログラミングに触れましたが、今では研究で利用できる程に上達しました。人の暮らしを豊かにするデジタル社会を夢に描き、情報データ科学部で最新の情報技術を学んでみませんか？

（現）人間情報工学コース大学院2年次
田村 智一さん（福島県出身）
〈研究分野〉
位置情報サービス、データサイエンス、時空間情報分析、情報工学、モバイルマッピング
「GPSログデータのクラスタリングによる滞在場所の検出とジオフェンスの自動生成」

データサイエンスはどんな学問ですか？



データサイエンスとは、大量のデータから有益な情報を得る手法について学ぶ学問です。収集された大量のデータを可視化することで傾向を把握したり、未来の需給を予測したりすることができます。私の研究では、スマートフォンの各種センサ（GPS、加速度センサなど）から取得したログデータを時空間的に分析し、ユーザがどんな場所に興味を持っているかを調査することで、観光アプリなどのサービス向上を目指しています。

将来の夢（就きたい仕事）などは？

人々の暮らしを便利にするアプリやシステムの開発に携わりたいと考えています。現在研究で開発しているプログラムでは、新しい機能を追加する際に様々な部分に変更が生じる点を課題と感じています。こういった、機能の拡張性やアップデートへの保守性を意識した設計について習得し、長期に渡って利用されるものを作れるエンジニアになりたいです。

秋田大学のおすすめポイント＆アドバイスを！

秋田大学ではコンピュータの原理やプログラミングだけではなく、人間を中心としたシステムの重要性についても学ぶことができます。高速に動作するのも大切ですが、どのくらい処理が進んでいるかをユーザに知らせることで安心感を与えるのも良いシステムの一要件と言えます。

デジタル社会の実現に向け、大量のデータを活用する重要性が飛躍的に高まっています。講義や演習を通して身近なアプリの仕組みや利用されているデータサイエンスとデータエンジニアリングを学習し、課題解決のためのシステムが作れるようになります。是非、情報データ科学部で学び、高いデータ解析・活用スキルを身に付けてください。

アドミッション・ポリシー（抜粋）

育てる人間像

理工学に関する高い専門性を身に付け、かつ、他者と共創して柔軟で総合的に課題を解決していける人材を養成します。

自然環境や環境技術について正しい知識を身に付け、科学技術による環境問題の解決に貢献できる人材を育成します。

求める人物像

① 科学技術を学ぶために必要な基礎学力を身につけた人
② グリーン社会の実現やデジタル技術の活用に興味があり、積極的に自己学習のできる人
③ 研究者や技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人

入学試験情報（予定）

学　科	入学定員	一般選抜		特別入試
		前期日程	後期日程	総合型選抜
応用化学生物学科	100名	検討中		検討中
環境数物科学科	90名			
社会システム理工学科	125名			
計	315名			

※学科別入試（総合型、前期、後期）を実施し、入試科目は数学（数Ⅲを含む）、理科（物理、化学、生物から選択）を予定しています。

学費情報（令和5年度現在）

入学料（予定額）	282,000円	授業料（予定額）	年額535,800円（半期267,900円）

※授業料の改訂が行われた場合には、改訂時から新しい授業料が適用されます。

アクセス

■秋田まで

●飛行機
札幌から ―― 約1時間
東京から ―― 約1時間
名古屋から ―― 約1時間30分
大阪から ―― 約1時間30分

●新幹線
東京から ―― 約4時間
仙台から ―― 約2時間15分

■JR秋田駅から、秋田大学手形キャンパスまで約1.3km

●徒歩：秋田駅東口から約15分
●バス：秋田駅西口バスのりば
12番線から秋田中央交通
手形山大学病院線
約5分「秋田大学前」下車

秋田大学 大学院理工学研究科
総務担当

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1
Tel.018-889-2305 Fax.018-889-2300
E-mail : koso@jimu.akita-u.ac.jp

2023年10月発行

※現時点での構想であり、変更があり得ます。新学部名称・学科名称等は全て仮称です。

令和5年10月時点情報

秋田大学
Akita University

秋田大学 理工学部は「総合環境理工学部」へ生まれ変わります

（仮称）

2025年（令和7年）4月

地球規模での環境問題に対する科学技術の役割は時代とともに大きくなってきています。また、「一人ひとりが多様な幸せを実現できる社会」が求められるようになっており、これを実現するには様々な専門性をもつ人々が集い、協力して社会の諸課題に対応を図っていくことが必要です。

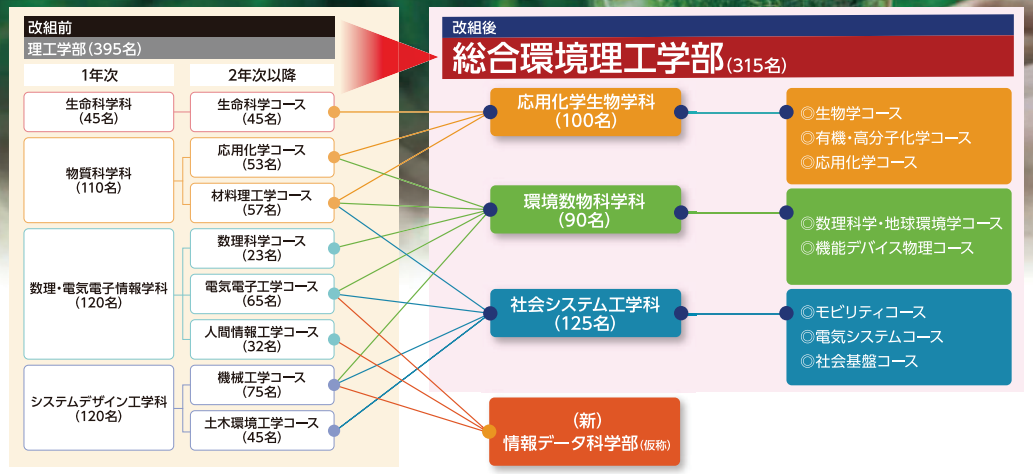
現在の理工学部を改組して設置する総合環境理工学部（仮称）は、理工学の基礎と応用を総合的に学ぶことができるように4学科8コースを3学科に統合するとともに、グリーン社会実現に関連した科学技術分野の教育研究を強化します。確かな専門性を身に付け、専門分野にデジタル技術を活用する能力や異なる専門分野を理解して協力できる能力を育み、新しい時代で活躍できる人材を養成します。

※「グリーン社会」とは、2020年当時の菅総理大臣の臨時国会での所信表明演説の中で、経済と環境の好循環を成長戦略の柱とし、脱炭素化と経済成長を両立する社会として使われた言葉です。これを実現する人材が「グリーン人材」です。

※現時点での構想であり、変更があり得ます。新学部名称・学科名称等は全て仮称です。

学部改組の概要

◎グリーン社会の実現とデジタル技術に関連した教育と研究を強化します。
◎既存の「4学科8コース体制」から「3学科体制」に再編します。



教育課程の概要

◎1年次～ 2年次前期には教養基礎科目や「総合環境理工学教育科目」(学科横断的な必修科目)を履修し、2年次後期からは各コースの専門性の高い科目を履修します。
◎他学科の科目も学んでもらい、グリーン社会の実現に関して分野横断的に幅広い知識を学修します。
◎数理・データサイエンス・AI教育を必修化し、自らの専門性にデジタル技術を活用できる能力を身に付けます。
◎4年次には、3年次までに学修した専門とグリーン社会との関わりについて調査・発表したり、修得した知識を活用して卒業課題研究を行うことで、総合的に課題を解決できる能力を養います。

環境数物科学科

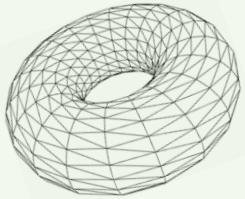
自然と共生し環境へのリスクを大幅に減少させながらも経済成長を続けるグリーン社会の実現に取り組む人材を育成します。自然科学の3つの分野またはエレクトロニクス・材料科学の深い専門性を身に付けると同時にデジタル技術にも詳しい研究者・技術者として世界に羽ばたいていきます。

数理科学・地球環境学コース

自然科学の三つの分野を専門として、数学の分野では方程式、関数、図形や空間の理論、物理学の分野では量子科学、地球科学の分野では地球環境の仕組みや構成する物質をそれぞれ学びます。
自然の摂理から学び社会に貢献できるデータサイエンティスト、技術者を養成します。

機能デバイス物理コース

電子系の分野では物理法則をデバイスに応用する技術、素材・材料系の分野ではその機能を向上させるもしくは新しい機能を創出する技術を学びます。
持続可能社会の実現に貢献する環境負荷の小さい高性能情報通信関連デバイスおよびそれに用いる素材・材料の知識を身に付けた技術者を養成します。



想定される就職先
◎情報通信関連　◎素材・材料関連
◎金融関連　◎教員・公務員
◎半導体・電子部品関連

応用化学生物学科

化学と生物学を学び両方の知識を使いこなし、グリーン社会の実現に貢献できる人材を養成します。人の健康を支える製薬業や医療機器関連企業、および脱炭素社会に向けて変革する化学関連企業などで科学技術者として活躍できます。

生物学コース

化学と生物学分野の基礎と分子生物学、細胞生物学、生理学、生物化学工学などの生物学の専門分野を学び、人間の健康維持や自然環境の保全およびバイオ生産などの諸課題に化学と生物学を総合した観点と高度なバイオ技術で取り組むことができる人材を養成します。

有機・高分子化学コース

化学と生物学分野の基礎と有機化学、高分子化学、生化学、有機材料科学などの複合専門分野を学び、医薬品や農薬および化学素材の製造業、食品産業、検査・分析機関などの現場で化学と生物学を総合した観点と複合専門技術で貢献できる人材を養成します。

応用化学コース

化学と生物学分野の基礎と無機材料科学、電気化学、反応工学、エネルギー変換材料科学などの化学の専門分野を学び、クリーンエネルギーの創出や環境浄化および脱炭素化社会の実現などの諸課題に化学と生物学を総合した観点と高度な化学技術で取り組むことができる人材を養成します。

想定される就職先
◎製薬関連　◎環境関連
◎医療機器関連　◎化学関連
◎食品関連

社会システム工学科

生活に不可欠な航空機や自動車などのモビリティ、それを構成する素材、脱炭素に寄与する電気システム、人とまちをまもる社会基盤、それらを専門的に深く学べます。持続可能で豊かな未来社会を築く技術者になることができます。

モビリティコース

次世代の飛行機、鉄道、自動車、その他の移動体など、新しいモビリティ開発に貢献できる人材を養成します。機械工学の基礎をなす四力学に加え、材料科学・工学の専門知識を総動員して、サステナブルな社会実現に資する先進モビリティの設計・開発に貢献できる技術者・研究者を養成します。

電気システムコース

電気システム分野の専門知識を活用し、環境対応技術を進歩させ、持続可能な社会システムの構築に貢献できる人材を養成します。輸送機およびそれら関連電気機器の製造開発、エネルギーインフラおよび再生可能エネルギー導入に関連する事業、電気電子情報通信に関連する製造・サービス業などに有為な人材を養成します。

社会基盤コース

環境に配慮し災害に強い道路や河川・港湾，橋梁などの社会基盤の構築と、それに基づいた強靭で持続可能な地域社会の発展に貢献できる人材を養成します。地球規模での環境倫理観をもち、すべてのひとにとって安全・安心・便利となる地域社会システムの設計、さらにその維持管理に貢献できる技術者・研究者を養成します。

想定される就職先
◎航空機関連　◎電力・再エネ関連
◎自動車関連　◎建設関連
◎素材関連　◎技術系公務員

※現時点での構想であり、変更があり得ます。新学部名称・学科名称等は全て仮称です。

※現時点での構想であり、変更があり得ます。新学部名称・学科名称等は全て仮称です。